
兄の残像 中学編

たすきがけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

兄の残像 中学編

【Nコード】

N9244M

【作者名】

たすきがけ

【あらすじ】

「俺の兄は、野球に殺されたんだ!!」

悲劇の少年、菊島修斗。

兄の修助は、もう戻ってこない・・・

野球に復讐してやりたいが、殺せるはずもない・・・

混乱と絶望の前に立った修斗は、相棒のキャッチャーの慎矢に、助けてもらう・・・

そのお詫びに

、中学の野球部に入部。天才ピッチャーとなる。

悲劇の一球（前書き）

・・・つかれた

悲劇の一球

4年前の夏の地区予選決勝・・・

マウンドの上でロージンをおもむろにポンポンとつけ、フツ、と息を吹きかけると、白い粉が空中に舞う・・・エースナンバーを背負った兄を僕はスタンドからじっと見ていた。

兄が通う学校は白峰高校。3年の最後の夏。甲子園のキップをどちらが得るかの譲れない勝負。

9回の表、ツアアウト、ランナーは3塁、0-0と同点で、スタンドとベンチは両校とも、緊張した雰囲気包まれていた。

バッターは4番、左打ちで、サードを守っている。今試合では4打数0安打と、いまいちの成績だった。一方、兄は9回投げて被安打1、四死球0で、打たれたのは今回の3番のスリーベースの一本だけだった。

プロの球団も、地区予選の段階で一目置いている兄は、僕にとっても憧れの的だった。

そして、悲劇の一球が・・・兄を襲う事など、誰が予測していただろうか？

1球目、兄はウィンドアップをし、おもむろに左足を上げ、足が地に付く。

見事な体重移動で、体中のエネルギーが、右手の人差し指に集約し、放たれる。

ドパアアン！！！！

キャッチャーミットにボールが当たる音が、しーん……と静まりかえったスタンドに響く。

スタンドの皆は、この最終決戦と予測していたかのように、固唾を呑み、じつと二つの高校球児のシルエットを見ていた。

2球目……

悲劇は訪れた。

兄が放った鋭いカーブが、相手打者の胸元を抉った。

完璧なコース。

だが、4番の意地ともいうべきか……
スツと足を開き、オープンスタンスの状態に。

そして、驚異のヘッドスピードで、ボールを弾き返す。浮き足……
無防備な兄の脳天を、そのボールが、直撃した。

バキッ

と、鈍い音が……

兄は、その場で倒れこんだ。

そして、迅速に対応した救急隊が、担架で、兄を運び出す。

スタンドに、どよめきが走った。

翌日、医者から、重態という知らせが入った。

頭蓋骨粉碎骨折・・・そして、脳への重度の衝撃・・・

医者も、最善を尽くしたのだが、兄は命を落とした・・・

18歳だった。

悲劇の一球（後書き）

な
↑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9244m/>

兄の残像 中学編

2011年10月7日16時11分発行